

コラム1 新潟県産農林水産物のブランド化

新潟県は、農林水産業の発展、地域経済の活性化、誇りと愛着を持つことができる地域社会の実現のために、県産農林水産物のブランド化に取り組んでいます。ブランド化を進めるためのリーダー役として選んだ県推進ブランド品目の8品目を中心に、県内外へ積極的にPRしています。

県産農林水産物をPRするための方法の一つとして、県産農林水産物の品質の高さや生産者のこだわりなどを表現したブランドキャッチコピーとロゴマークをつくり、関係者みんなで利用しています。



▲県推進ブランド品目（左上から）：新潟米、新潟産えだまめ、ルレクチエ、越後姫、にいがた和牛、のどぐろ、南蛮エビ、錦鯉



▲ブランドキャッチコピーとロゴマーク



▲うまいに、まっすぐ。新潟県（公式サイト）

コラム2 米のいろいろな利用方法

米は、ごはんで食べる以外にも、いろいろな食品に加工され、私たちの食生活を豊かにしています。米がたくさんとれる新潟県には、おせんべいやあらねなどの米菓や、切りもち、日本酒などを作る会社もたくさんあります。とくに、米菓や切りもちは全国の5割以上を新潟県で作っています。

さらに、米を粉にした「米粉」をつくる新しい技術を新潟県が開発したことで、最近では米粉を小麦粉の代わりに使った色々な食品が増えています。

新潟県では、「にいがた発
アールテン
「R10プロジェクト」を進めています。

輸入小麦粉消費量の10%以上を国産米粉に置きかえる国民的プロジェクト

●米の加工品の出荷額

(2023年、令和5年)

	金額	全国の出荷額に しめるわりあい	全国での 順位
米菓 (おせんべい、あらねなど)	1,797 億円	51%	1位
切りもち	284 億円	65%	1位
日本酒	444 億円	11%	3位



米粉を使った
おいしいパンや、
お料理を
食べてね。

米粉PRキャラクター
コメパンマン



©やなせたかし

最近では米粉や、米粉を使ったパン、ケーキなどを売っているお店も増えています。買い物に行ったら探してみましよう。